

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学（福島医大）耳鼻咽喉科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年2月 福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 講座主任

【研究課題名】 頭頸部腫瘍・唾液腺疾患の硬さの定量的評価法の開発

【研究期間】 平成26年 2月 ～ 31年 1月

【研究の意義・目的】

癌組織では血管と細胞の密度が増加するにつれてその硬さが増し、この硬化は早期の癌でもすでに始まっているといわれています。この硬さの情報を診断に用いようという考えは、超音波を用いた新しい画像診断の手法として発展し、現在のエラストグラフィ装置では、乳腺腫瘍において悪性、良性の鑑別のみならず、組織の硬さの分布を描出できるツールとなりつつあります。

エラストグラフィの有用性は乳腺腫瘍、肝硬変などで実証されつつありますが、甲状腺腫瘍や唾液腺腫瘍などの頭頸部腫瘍においては報告が少なく、われわれが掌握した限りでは超音波機器で測定されるVIQ, VTIQ（組織の硬度を数値で示す方法、詳細は研究の方法の項をご参照ください）の唾液腺疾患や健常唾液腺組織での報告はありません。そこで、本研究は頭頸部腫瘍や慢性唾液腺炎の患者様を対象に頭頸部腫瘍および頭頸部の表在臓器（耳下腺・顎下腺・甲状腺・リンパ節など）を対象に超音波検査で組織硬度を数値で示し、エラストグラフィを用いた新たな診断方法の開発につなげることが目的です。

【研究の方法】

本学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来で超音波検査を行った頭頸部腫瘍と慢性顎下腺炎の患者さんの下記の検査データを収集します。

I： 超音波検査

診療録より通常の超音波検査に加えて以下のモードで超音波検査を行った検査結果を抽出します。

1. Virtual Touch TM Quantification (VTQ)

超音波検査でVTQモードに設定し、測定したい場所を定めてボタンを押すと瞬間的に測定値が画面上に表れます。

2. Virtual Touch TM Imaging Quantification (VTIQ)

超音波検査で瞬間的に硬度の分布を示す像が画面上に表れ、特別な手技は必要なく検査を行う人の技量に左右されることが少ない方法です。イメージ取得後に測定したい位置の測定値を読み取ることができます。

II： 病理診断との反映

診療録より細胞診などの術前病理診断および根治手術後病理診断の結果とI：
超音波検査の結果を比較します。

III： 口腔検査

診療録より慢性唾液腺炎の患者に対して行ったサクソンテスト (Saxon test)
の結果を抽出します。乾燥したガーゼを2分間一定の速度で噛み、ガーゼに吸
収される唾液の重量を測定して唾液の分泌量を測定します。一般にガーゼの重
量増加が2 g 以下の場合、サクソンテスト陽性と判断します。

唾液の分泌量の結果とI：超音波検査の結果を比較します。

本研究結果を学術集会にて発表し、論文を作成し学術雑誌に投稿いたします。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	教授	大森孝一
主任研究者	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	講師	松塚 崇
研究分担者	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	助手	鈴木政博
	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	助手	西條 聡
	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	助手	池田雅一

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、
利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条
例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には書等
の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 担当 松塚 崇

電話：024-547-1111 FAX：024-548-3011

E-mail：tmtzk@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話：024-547-1007 FAX：024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話：024-547-1825 FAX：024-547-1991

E-mail：rs@fmu.ac.jp